

新型コロナウイルス感染症の後遺症はウイルスに感染し症状が出た人も無症状や重症化した人も関係なく感染した人すべてに起こる症状です

- 新型コロナウイルス感染症の後遺症は、倦怠感・呼吸苦・咳嗽・味覚・味覚障害などが主な症状であり、20歳代以降の全世代で高頻度に認められ、月単位(2~4ヶ月後)で遷延する事が明らかになってきた。
- 回復後に出現する遅発性後遺症はウイルス後疲労症候群と呼ばれ、脱毛、記憶障害、睡眠障害、集中力低下などがある。
- 後遺症発症のリスク因子として、高齢、女性、肥満、急性期の症状数が5以上であることが報告されたが、現段階では後遺症の原因は不明であり確立された治療法はないとされている。
- 後遺症には医学的、社会的、経済的問題があり、これらは喫緊の課題とされている。
- 最大の**後遺症予防は新型コロナウイルス感染症に罹患しないこと**であり継続的な患者への啓発活動が重要であるとされている。

NHKの資料より

新型コロナウイルス感染症の後遺症は半年後に倦怠感や脱毛などの症状が出てくる

新型コロナウイルスで入院した246人に診断から半年後の症状をアンケート調査したところおよそ8割が元の健康状態に戻ったと感じていた一方で、21%で疲労感や倦怠感、13%で息苦しさ、11%で睡眠障害、10%で脱毛があるとの回答だったということです。

### 集中治療後遺症

集中治療室での治療後に生じる身体障害、認知機能障害、精神の障害を指す。COVID-19の場合は重症者の多くが高齢者であり、ワクチンも特効薬もない感染症で治療が長期化したこと、嚴重な感染対策のために家族や友人とも会えず、孤独な闘病を余儀なくされたことなどが若年層と比較して重い症状が現れた可能性があるとしてされています。

### 現状で心配されている症状

若年層も高齢者にも心配されている後遺症は、やる気が出ない・集中力がない・身体に力が出ない等からおきているうつ状態です。長引きことにより精神障害を引き起こし、本当の**うつ病へと移ることが**心配されています。

文責 常務理事  
大西 昭彦